

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	博物館経営論						授業形態		講義	
科目コード	710101	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	永友 良典								ICT活 用	
授業概要	博物館へのニーズ拡大やグローバル化、情報化、国際化の進展の中で、多くの来館者や市民が満足して利用してもらえる博物館づくりのために、博物館の意義、組織、施設、人材、経営手法、マーケティング、評価、連携など、博物館の経営的視点の観点で博物館を運営することが不可欠である事を学ぶ。 なお、県教育委員会在職中に宮崎県総合博物館と宮崎県立西都原考古博物館に約20年間の勤務経験があり、文化財IPMコーディネーターの資格を有しており文化財保存に関する豊富な実務経験を持ち、東日本大震災や熊本地震等の際には文化財レスキュー活動にもかかわった。また、宮崎歴史ネットワークに所属しており文化財保全活動のボランティアに携わっている。以上の経験を十分授業に活かしていく。									
関連する科目	1年次及び2年次に履修した学芸員養成課程に関する科目									
授業の進め方 と方法	授業で取り扱う重要なキーワードを事前に授業でまとめおき、授業で取り上げながら要点をまとめる。関連する写真データを使いわかりやすく授業を進める。また、授業で学んだ知識を活かし、自分が作りたい博物館を作り上げるレポート「博物館を作ろう」を完成させる。									
授業計画 【第1回】	第1回 ミュージアムマネージャーとは 「博物館経営論」で学ぶ項目について概要を解説する。									
授業計画 【第2回】	第2回目 博物館の現状 日本博物館協会の統計を元に、全国の博物館の現状を紹介し、宮崎県総合博物館や県立西都原考古博物館の状況について深掘りする。									
授業計画 【第3回】	第3回 博物館と行財政 博物館経営にかかわりの大きな行財政について、法律、制度、組織等について考える。									
授業計画 【第4回】	第4回 博物館と行財政 博物館経営にかかわりの大きな行財政について、人材、予算等について考える。									
授業計画 【第5回】	第5回 博物館の施設と設備 博物館の施設や設備について事例を紹介し、これからこれからの博物館に必要な施設等を考える。また、最近の博物館に導入が進んでいるユニバーサルデザインについて紹介する。									
授業計画 【第6回】	第6回 博物館倫理と行動規範 博物館を取り巻く現状を紹介し博物館経営に必要な倫理と学芸員が活動する際に心がけるべき行動規範について考える。									
授業計画 【第7回】	第7回 博物館の使命 いくつかの「使命」の事例を紹介し、博物館経営にとって「使命」がいかに重要かを解説する。									
授業計画 【第8回】	第8回 博物館評価 博物館評価導入の経緯、評価のシステム、評価の現状と課題等を解説する。									
授業計画 【第9回】	第9回 博物館の危機管理 災害時の博物館の取り組みについて解説する。事前の防災対策、災害発生時の被害軽減を考えたリスクマネジメント等の基本的な考え方についても紹介する。授業では東日本大震災や熊本地震等の災害で行われた文化財レスキュー活動の事例も紹介する。									
授業計画 【第10回】	第10回 博物館のマーケティングと広報 マーケティングと広報について定義や方法を解説し、いくつかの事例を紹介する。マーケティングと広報がこれからの博物館の経営に重要なキーワードになることを紹介する。									

授業計画 【第11回】	第11回 博物館のミュージアムショップとレストラン・カフェ 博物館にとって必要な施設であり、経営の一部となっているミュージアムショップ・レストラン・カフェについて博物館施設としての在り方等について今後の取り組みを紹介する。
授業計画 【第12回】	第12回 指定管理者制度 2003年度から新たに導入され、その後の博物館経営にも大きな影響力を持つ指定管理者制度について、制度の仕組み、導入後の現状と課題等について事例とともに解説する。
授業計画 【第13回】	第13回 博物館と連携 他の博物館や研究機関等との連携について相乗効果や新たな価値の創造等の視点から事例を中心に紹介する
授業計画 【第14回】	第14回 博物館と連携 学校・大学等の教育機関、行政機関、地域、福祉機関等とのより密接な連携について事例を中心に紹介する。
授業計画 【第15回】	第15回 博物館と連携 博物館運営に欠かせない博物館ボランティアや友の会、博物館支援組織等の育成や連携について事例をふまえて紹介する。
授業の到達目標	学芸員も経営的視点を持って、すべてのスタッフとともに博物館経営に取り組まなければことを理解することが必要である。そのため、博物館がいかに多くの人に利用してもらえるかを考え、博物館が所有するハコ（施設、設備、展示等）、ヒト（スタッフ、来館者等）、モノ（コレクション、情報等）をいかに適切に管理、活用して運営していくかを理解し、博物館のミュージアムマネージメントに関する基礎能力を養う。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	提示する重要なキーワードについて、内容を事前に調べる（30分）
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ内容をレポート「博物館を作ろう」に活かしてレポートを完成する。（各項目30分）
課題に対する フィードバック	提出されたレポートにコメントする。
評価方法・基準	定期試験80点 提出課題等20点
テキスト	毎回、資料を作成し配布する。
参考書	使用しない。
備考	